

人々を魅了した希代のカリスマリモノフとは?!

ウクライナに生まれ、ニューヨーク、パリを巡りシベリアの監獄へ—
ファシストでも共産主義者でもリベラルでも保守派でもなく、
しかしそれらすべてを内包し20世紀後半を駆けぬけた、
悪名高い実在の人物リモノフの愛と破滅のシネ・バラード

『007』シリーズのQ役や『ウーマン・トークン 私たちの選択』(22)など
ハリウッド大作から個性派監督の作品まで出演し続ける演技派ベン・
ウィショーが破天荒なアナーキストを熱演。数々の文学賞を受賞しヨー
ロッパ中が興奮した傑作伝記小説『リモノフ』を基にカンヌ国際映画
祭コンペ常連監督で、『インフル病みのペトロフ家』(21)『チャイコフス
キーの妻』(22)など世界が目にするロシアのキリル・セレブレニコフ
監督(2022年ロシアから亡命)が放つ、圧巻の演出と徹底したシニシ
ズムで観る者を愉快にも不快にもさせる問題作!



ベン・ウィショー主演×キリル・セレブレニコフ監督

ロシアのウクライナ侵攻で撮影が難航したものの5年をかけて完成。

ベン・ウィショーの怪演と圧巻の映像!

今日起こっているすべては、リモノフが書いたことに端を発している。彼
は戦争を望み、ソビエト連邦の再来を望んだ。彼が夢見た世界に生きて
いるような感じがするよ。ロシア政府は、彼やアレクサンドル・ドゥーギン
の著作をそのまま実行に移しているのではないかと思うほどだ……昨今
の情勢をかんがみ、僕はいつそこの暴挙にいたった過程を探る必要性
を痛感した。ロシアのファシズムがどこから来たのか、理解するためだ。

—監督:キリル・セレブレニコフ

リモノフ

主演 ベン・ウィショー 監督 キリル・セレブレニコフ 原作 エマニュエル・キャレル
2024年 | イタリア・フランス・スペイン | 133分 | 5.1ch | シネマスコープ | 英語・韓国語・仏語
原題: LIMONOV, THE BALLAD | 字幕翻訳: 北村広子 | 提供: クロックワークス、ブルーク | 配給: クロックワークス
© Wildside, Chapter 2, Fremantle España, France 3 Cinema, Pathé Films. 
@LIMONOVMOVIE 



エドワード・リモノフ

[1943-2020 ウクライナ出身]

作家活動中の20代にソ連への反体制活動で国外
追放処分を受け、アメリカに亡命後ヨーロッパへ渡
る。ソ連崩壊の1991年にモスクワへ戻り、1993年
国家ボルシェビキ党を共同設立し、反プーチン・反
統一ロシア党 掲げ活動していたが2020年に死
亡。詩人、作家、反体制派、亡命者、執事、ホームレ
ス、兵士、活動家、革命家、といくつもの顔を持つ。

9/5 FRI